

鉄道駅バリアフリー料金制度における 整備等計画の進捗状況

- 西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)—————1
- 阪神電気鉄道株式会社—————8
- 阪急電鉄株式会社—————14
- 神戸電鉄株式会社—————21
- 神戸高速線(阪神・阪急・神戸電鉄)—————27
- 京阪電気鉄道株式会社—————33
- 山陽電気鉄道株式会社—————39
- 大阪市高速電気軌道株式会社(大阪メトロ)—————44

2025 年 6 月 30 日
西日本旅客鉄道株式会社

鉄道駅バリアフリー料金制度に関する バリアフリー設備の整備進捗状況について

JR 西日本では、より安全に安心して鉄道をご利用いただけるよう、駅のホームにおける安全性向上を重要な経営課題ととらえ、ハード・ソフトの両面からさまざまな取組みを進めております。

2023 年 4 月 1 日から京阪神地区の整備対象エリアにおいて、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用し、お客様のご理解とご協力をいただきながら、バリアフリー設備の整備を進めております。

このたび、国土交通省近畿運輸局へ報告した 2024 年度の進捗状況(様式 2-1～様式 2-5)について、お知らせします。

1. 2024 年度のバリアフリー設備整備進捗状況

(1) 設置・改良費

設備名	上段：整備駅名(のりば)/下段：整備数		設置・改良費 ^{※3}	計画進捗率 ^{※4}
	整備中	整備完了		
ホーム柵	京都(3・4)、明石(1・2)、新今宮(2・3)、神戸(3・4)、天王寺(11・14・16・17)、大阪(3・4)、尼崎(4・5)、吹田(2・3)、新福島(1・2)、舞子(1・2)	弁天町(1・2)、西九条(1～4)	2,619 百万円	47% (9/19 番線)
	10 駅 22 番線	2 駅 6 番線		
ホーム安全スクリーン	【改良】 桂川(1・2) ^{※5} 、 須磨(1～4) ^{※5}	【設置】 岸辺(1・2)、千里丘(2・3)、堺市(1・2)、三国ヶ丘(1・2)、久宝寺(1～4)、奈良(2～5)、桜島(1・2)、ユニバーサルシティ(1・2)、鳴野(1～4)、住吉(1～4)、日根野(1～4)、西宮(1～4) 甲子園口(1～3)、六甲道(1・2・4)	1,191 百万円	64% (91/142 番線)
	2 駅 6 番線	14 駅 42 番線		
段差隙間縮小に資する設備	—	弁天町(1・2)、新今宮(1・4) 西九条(1～4)、大阪(2)	73 百万円	79% (11/14 番線)
		4 駅 9 番線		

※1 エレベーター、エスカレーターの当該年度の整備はありません

※2 【設置】【改良】の記載がない設備はすべて新規設置を示します

※3 整備中および整備完了の設備に対して発生した費用を示します

※4 計画期間(2021～2025 年度)における整備計画数に対する進捗率(整備完了)を示します

※5 ホーム上の屋根等がない範囲の整備を示します

(2) 更新費

エレベーターの更新 4 駅 6 基 116 百万円
エスカレーターの更新 4 駅 14 基 431 百万円

(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用(駅務機器改修費・駅頭表示改修費等)

維持管理費	943 百万円
その他費用	5 百万円

(4) 料金収受額・整備費

ア. 当該年度 (2024 年度)

①料金収受額：5,601 百万円

②整備費：5,379 百万円 ※ (1) ~ (3) の合計額

イ. 累積 (2021 年度から 2024 年度まで)

①料金収受額：10,981 百万円 ※2023 年度より収受を開始

②整備費：13,247 百万円

(参考)

- ・ 鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備

(2022 年 8 月 19 日ニュースリリース)

https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/08/page_20617.html

- ・ 鉄道駅バリアフリー料金制度に関する整備等計画の変更について

(2024 年 3 月 27 日ニュースリリース)

https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/03/page_24888.html

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 9 番、10 番、11 番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



【お問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 TEL : 06-6375-8889

2024年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	西日本旅客鉄道株式会社
---------	-------------

本年度整備費	5,379 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホーム柵	2 駅	6 番線	弁天町、西九条
エレベーター	0 駅	0 基	
エスカレーター	0 駅	0 基	
段差隙間縮小に資する設備	4 駅	9 番線	弁天町、西九条、大阪、新今宮
ホーム安全スクリーン	14 駅	42 番線	岸辺、千里丘、堺市、三国ヶ丘、久宝寺、奈良、桜島、ユニバーサルシティ、鳴野、日根野、甲子園口、住吉、六甲道、西宮
備考			

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	6 番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

本年度徴収額	5,601 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	3,437	2,164	0
備考			

本年度までの累計整備費	13,247 百万円
本年度までの累計徴収額	10,981 百万円

2024年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホーム柵	12 駅	28 番線	※1	2,619 百万円
エレベーター	0 駅	0 基		0 百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		0 百万円
段差隙間縮小	4 駅	9 番線	弁天町、西九条、大阪、新今宮	73 百万円
ホーム安全スクリーン	16 駅	48 番線	※2	1,191 百万円
備考	※1 供用開始：2駅6番線(弁天町、西九条) 整備中：10駅22番線(京都(継続)、明石(継続)、新今宮(継続)、神戸(継続)、天王寺(新規・継続)、大阪、尼崎、吹田、新福島、舞子) ※2 供用開始：【設置】14駅42番線(岸辺、千里丘、堺市、三国ヶ丘、久宝寺、奈良、桜島、鳴野、ユニバーサルシティ、日根野、甲子園口、住吉、六甲道、西宮) 整備中：【改良】2駅6番線(桂川、須磨)※ ※2023年度までにホームの屋根がある範囲整備完了、2024年度からホーム上家がない範囲を整備中			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
エレベーター	4 駅	6 基	京都、寺田町、森ノ宮、福島	116 百万円
エスカレーター	4 駅	14 基	京都、JR難波、三ノ宮、新長田	431 百万円
備考				
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費				943 百万円
収受システム改修費				0 百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				5 百万円
備考	維持管理費は、エレベーター、エスカレーター、ホーム柵、ホーム安全スクリーンの維持管理に要した費用を示す。			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホーム柵設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	2番線	11%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	1番線	16%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	6番線	47%	0駅	0%	0駅	0%
2025年度	10番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
累計	19番線	100%	0駅	—	0駅	—

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホーム柵設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	6番線	33%	0駅	0%	0駅	0%
2027年度	12番線	100%	1駅	100%	1駅	100%
累計	18番線	100%	1駅	100%	1駅	100%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
明石(1,2番ホーム)昇降式ホーム柵他新設	ホーム上での工事においては、営業線近接工事を取り扱う資格を有し、かつ、当社仕様のホーム柵設置技術を有している施工会社による施工が必要なため	過去の施工実績等を基に基準価格を設定し、適正な価格協議を実施	527 百万円
京都(3,4番ホーム)昇降式ホーム柵他新設	ホーム上での工事においては、営業線近接工事を取り扱う資格を有し、かつ、当社仕様のホーム柵設置技術を有している施工会社による施工が必要なため	過去の施工実績等を基に基準価格を設定し、適正な価格協議を実施	513 百万円
新今宮(2,3番ホーム)可動式ホーム柵他新設	ホーム上での工事においては、営業線近接工事を取り扱う資格を有し、かつ、当社仕様のホーム柵設置技術を有している施工会社による施工が必要なため	過去の施工実績等を基に基準価格を設定し、適正な価格協議を実施	329 百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

鉄道駅バリアフリー料金制度における整備等計画の進捗状況について(お知らせ)

当社では2023年4月1日より、運賃と合わせて鉄道駅バリアフリー料金(以下「料金」といいます。)を収受しておりますが、「鉄道駅バリアフリー料金の取扱いに関する通達(国鉄都第111号 令和3年12月28日付け)」に基づき、下記の通り2024年度の整備等計画の進捗状況をお知らせいたします。

お客さまには引き続き料金のご負担をお願いすることとなりますが、制度の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 整備費総額：958百万円(2022年度からの累計 3,072百万円)

【内訳】設置・改良費 736百万円

維持管理費・収受システム改修費・その他費用 222百万円

2. 主な整備内容

①設置・改良費の内容

- ・甲子園駅 ホームドア設置(ホームドア製作、設置工事等)
- ・元町駅 ホームドア設置(ホームドア製作等)
- ・姫島駅等6駅 ホームドア設置(測量、設計業務)

※姫島駅、千船駅、武庫川駅、住吉駅、福駅、伝法駅、鳴尾・武庫川女子大前駅

②維持管理費・収受システム改修費・その他費用の内容

- ・ホームドア(可動式ホーム柵)、エレベーター、エスカレーターの維持管理費及び固定資産税

3. 料金徴収によるホームドア設置番線数及び段差解消駅数

- ・ホームドア設置番線数 2番線
- ・段差解消駅数 0駅(二経路以上確保駅)

4. 料金徴収額：1,231百万円(2023年度からの累計 2,352百万円)

5. 整備等計画の進捗状況：当初の計画通りに進捗しています。

以上

2024年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	阪神電気鉄道株式会社
---------	------------

本年度整備費	958	百万円
--------	-----	-----

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	1 駅	2 番線	甲子園駅
エレベーター	0 駅	0 基	
エスカレーター	0 駅	0 基	
スロープ	0 駅	0 ヶ所	
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線	
段差隙間縮小に資する設備	0 駅	0 番線	
バリアフリースイレ	0 駅	0 ヶ所	
車両のフリースペース	0 編成	0 両	
その他	0	駅	
備考			

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	2	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

本年度徴収額	1,231	百万円	
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	821	410	0
備考			

本年度までの累計整備費	3,072	百万円
本年度までの累計徴収額	2,352	百万円

2024年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	9 駅	21 番線	【新規】甲子園駅（支柱伸縮式）、元町駅、姫島駅※、千船駅※、武庫川駅※、住吉駅※、福駅※、伝法駅※、鳴尾・武庫川女子大前駅※ 【継続】甲子園駅（腰高式）	736 百万円
エレベーター	0 駅	0 基		0 百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		0 百万円
スロープ	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線		0 百万円
段差隙間縮小	0 駅	0 番線		0 百万円
バリアフリートイレ	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
車両のフリースペース	0 編成	0 両		0 百万円
その他		駅		0 百万円
備考	※測量、設計業務のみを実施			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	0 駅	0 番線		0 百万円
エレベーター	0 駅	0 基		0 百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		0 百万円
バリアフリートイレ	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
車両	0 編成	0 両		0 百万円
その他		0 駅		0 百万円
備考				
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）				
維持管理費			221	百万円
収受システム改修費			0	百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)			1	百万円
備考	維持管理費には、ホームドア・エレベーター・エスカレーター・バリアフリートイレの維持管理を含む その他費用は鉄道駅バリアフリー料金により整備した資産に係る固定資産税			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0	0%	0	0%
2022年度	0番線	0%	0	0%	0	0%
2023年度	6番線	35%	6	50%	1	17%
2024年度	2番線	47%	8	58%	1	17%
2025年度	9番線	100%	17	100%	1	17%
累計	17番線	100%	17	100%	1	17%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	11番線	12%	駅	%	駅	%
2027年度	12番線	26%	駅	%	駅	%
2028年度	20番線	48%	駅	%	駅	%
2029年度	14番線	64%	駅	%	駅	%
2030年度	16番線	82%	駅	%	駅	%
2031年度	6番線	89%	駅	%	駅	%
2032年度	6番線	96%	駅	%	駅	%
2033年度	4番線	100%	駅	%	駅	%
2034年度	0番線	100%	駅	%	駅	%
2035年度	0番線	100%	駅	%	駅	%
累計	89番線	100%	駅	%	駅	%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
甲子園駅ホームドア設置工事(2・3番線)の内機械関係工事	近鉄車両停車ホームについては、支柱伸縮式ロープ柵を指定品とする必要があり、当該設備及び当社における鉄道施設固有設備の施工に精通している請負業者は、2024年時点では一社しかないため。	請負業者との価格協議を十分に行い、価格抑制に努めた。	535 百万円
甲子園駅ホームドア設置工事（2・3番線）の内電気関係工事	列車運行に関わる鉄道電気施設固有の設備を改良・補修する工事で、当社における当該設備の施工に精通している請負業者は一社しかないため。	請負業者との価格協議を十分に行い、価格抑制に努めた。	77 百万円
元町駅ホームドア設置工事の内電気関係工事	列車運行に関わる鉄道電気施設固有の設備を改良・補修する工事で、当社における当該設備の施工に精通している請負業者は一社しかないため。	請負業者との価格協議を十分に行い、価格抑制に努めた。	39 百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

鉄道駅バリアフリー料金制度における整備等計画の進捗状況について (お知らせ)

標記の件につきまして、弊社では2023年4月1日から運賃に加算して「鉄道駅バリアフリー料金」を収受させていただいておりますが、「鉄道駅バリアフリー料金制度の運用細目を定める通達(国鉄都第111号 令和3年12月28日付)」に基づき、2024年度におけるバリアフリー整備等の実績について以下の通りご報告申し上げます。

お客様には引き続き料金のご負担をおかけしますが、制度の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

■2024年度実績

1. 整備費総額：68億47百万円

【内訳】設置・改良費：55億21百万円、更新費：9億37百万円、
維持管理費：3億89百万円

2. 設置・改良費の内容

(1) ホームドア整備費

①ホーム補強・扛上工事ならびに可動式ホーム柵設置工事(2024年度供用開始)

西宮北口駅、蛍池駅、桂駅

②ホーム補強・扛上工事等

塚口駅、石橋阪大前駅、川西能勢口駅、高槻市駅、京都河原町駅

(2) 固定式ホーム柵整備費

①ホーム補強・扛上工事ならびに固定式ホーム柵設置工事(2024年度供用開始)

今津駅、阪神国道駅、西宮北口駅、夙川駅、苦楽園口駅、甲陽園駅

②ホーム補強・扛上工事

石橋阪大前駅

③設計業務

桜井駅、牧落駅、箕面駅

(3) 車両のフリースペース整備費

車いすスペース改良工事：9300系3編成24両

(4) バリアフリースペース整備費

改修工事：雲雀丘花屋敷駅

(5) その他

バリアフリー化に向けた測量・設計業務：中津駅

バリアフリー化に向けた調査検討：大阪梅田駅

3. 更新費の内容

(1) エレベーター更新費：甲東園駅、王子公園駅、川西能勢口駅、南千里駅、今津駅

(2) エスカレーター更新費：宝塚南口駅、宝塚駅、上新庄駅、南茨木駅、蛍池駅

4. 維持管理費の内容

エレベーター、エスカレーター、可動式ホーム柵等

5. 2024年度の料金徴収によるホームドア設置番線数及び段差解消駅数
 - ・ ホームドア設置番線数：3駅12番線（西宮北口駅、蛍池駅、桂駅）
 - ・ 固定式ホーム柵設置番線数：6駅9番線
（今津駅、阪神国道駅、西宮北口駅、夙川駅、苦楽園口駅、甲陽園駅）
 - ・ 段差解消駅数：0駅

6. 2024年度の収受総額：39億91百万円
【内訳】定期外：27億05百万円、通勤定期券：12億86百万円

7. 整備等計画の進捗状況：当初の計画通りに進捗しています。

8. 本年度までの累計整備費・収受額
【累計整備額】113億16百万円（2021年度～2024年度）
【累計収受額】73億47百万円（2023年度～2024年度）

以 上

2024年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	阪急電鉄株式会社
---------	----------

本年度整備費	6,847 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
ホームドア	3 駅 12 番線	西宮北口・蛸池・桂
ホーム固定柵	6 駅 9 番線	今津・阪神国道・西宮北口 夙川・苦楽園口・甲陽園
エレベーター	0 駅 0 基	
エスカレーター	0 駅 0 基	
スロープ	0 駅 0 箇所	
内方線付点状ブロック	0 駅 0 番線	
段差隙間縮小に資する設備	0 駅 0 番線	
バリアフリースイレ	1 駅 1 箇所	雲雀丘花屋敷
車両のフリースペース	0 編成 0 両	
その他	0 箇所*	
備考		

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	12	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

本年度徴収額	3,991 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	2,705	1,286	0
備考			

本年度までの累計整備費	11,316 百万円
本年度までの累計徴収額	7,347 百万円

2024年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
可動式ホーム柵	8 駅	24 番線	【継続】西宮北口・蛍池・桂・塚口・石橋阪大前・川西能勢口・高槻市・京都河原町	4,695 百万円
固定式ホーム柵	10 駅	18 番線	【継続】今津、阪神国道、西宮北口、夙川、苦楽園口、甲陽園 【新規】石橋阪大前、桜井、牧落、箕面	753 百万円
エレベーター	0 駅	0 基		0 百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		0 百万円
スロープ	0 駅	0 箇所		0 百万円
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線		0 百万円
段差隙間縮小	0 駅	0 番線		0 百万円
バリアフリートイレ	1 駅	1 箇所	【継続】雲雀丘花屋敷	13 百万円
車両のフリースペース	3 編成	24 両		19 百万円
その他				41 百万円
備考	【可動式ホーム柵】 ホーム柵設置工事（西宮北口・蛍池・桂） ホーム補強・扛上工事（塚口・石橋阪大前・川西能勢口・高槻市・京都河原町） 【固定式ホーム柵】 ホーム補強・扛上工事および固定式ホーム柵設置工事 （今津、阪神国道、西宮北口、夙川、苦楽園口、甲陽園） ホーム補強・扛上工事（石橋阪大前） 土木設計（桜井・牧落・箕面） 【バリアフリートイレ】 改修工事（雲雀丘花屋敷） 【車両のフリースペース】 車いすスペース改良工事（9300系3編成24両） 【その他】 バリアフリー化に向けた測量・設計（中津）、バリアフリー化に向けた調査検討（大阪梅田）			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	0 駅	0 番線		0 百万円
固定式ホーム柵	0 駅	0 番線		0 百万円
エレベーター	5 駅	7 基	【新規】甲東園・王子公園・川西能勢口 【継続】南千里・今津	338 百万円
エスカレーター	5 駅	17 基	【新規】宝塚南口・宝塚・上新庄・南茨木 【継続】蛍池	596 百万円
バリアフリートイレ	0 駅	0 箇所		0 百万円
車両	0 編成	0 両		0 百万円
その他		2 駅	【継続】神戸三宮・京都河原町	3 百万円
備考	【その他】 エレベーター遠隔監視装置設置工事（神戸三宮・京都河原町）			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）				
維持管理費			389	百万円*
収受システム改修費			0	百万円
その他費用 <small>（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）</small>			0	百万円
備考	* 可動式・固定式ホーム柵・エレベーター・エスカレーター・点状ブロック等の維持管理			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		固定式ホーム柵設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
					駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	0番線	0%	7番線	28%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	12番線	33%	9番線	64%	0駅	0%	0駅	0%
2025年度	12番線	100%	9番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
累計	24番線	100%	25番線	100%	0駅	—	0駅	—

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		ホーム固定柵設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
					駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	16番線	11%	6番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2027年度	16番線	22%	0番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2028年度	16番線	34%	0番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2029年度	11番線	41%	0番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2030年度	20番線	55%	0番線	100%	1駅	100%	1駅	100%
2031年度	20番線	69%	0番線	100%	0駅	100%	0駅	100%
2032年度	16番線	80%	0番線	100%	0駅	100%	0駅	100%
2033年度	14番線	90%	0番線	100%	0駅	100%	0駅	100%
2034年度	8番線	96%	0番線	100%	0駅	100%	0駅	100%
2035年度	6番線	100%	0番線	100%	0駅	100%	0駅	100%
累計	143番線	100%	6番線	100%	1駅	100%	1駅	100%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
桂駅ホームドア整備事業 （桂駅2～5番線）	当社線の車両条件に適應し、信号・保安システムとの連動に対応可能なホームドア関連技術を有している製造メーカーに随意契約とした。	技術提案型のコンペを実施した上で、当社の要求水準に合致する技術を有すると判断し、価格も妥当と認められる1社を選定している。	488 百万円
西宮北口駅ホームドア整備事業 （1～4番線）※降車ホーム含む	当社線の車両条件に適應し、信号・保安システムとの連動に対応可能なホームドア関連技術を有している製造メーカーに随意契約とした。	技術提案型のコンペを実施した上で、当社の要求水準に合致する技術を有すると判断し、価格も妥当と認められる1社を選定している。	626 百万円
蛸池駅（1.2番線）ホームドア整備事業	当社線の車両条件に適應し、信号・保安システムとの連動に対応可能なホームドア関連技術を有している製造メーカーに随意契約とした。	技術提案型のコンペを実施した上で、当社の要求水準に合致する技術を有すると判断し、価格も妥当と認められる1社を選定している。	204 百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

鉄道駅バリアフリー料金制度における整備等計画の進捗状況について（お知らせ）

当社では2023年4月1日より、運賃に加算して鉄道駅バリアフリー料金を収受させていただいておりますが、「鉄道駅バリアフリー料金制度の運用細目を定める通達（国鉄都第111号 令和3年12月28日付け）」に基づき、下記の通り2024年度末時点における整備等計画の進捗状況をお知らせいたします。

1. 具体的な公表項目

- (1) 鉄軌道事業者名 : 神戸電鉄株式会社
- (2) 2024年度の整備費 : 154百万円
- (3) 2024年度 of 主な整備内容 :

- ・志染駅内方線付点状ブロック設置

施工前



施工後



- ・小野駅エレベーター更新

施工前



施工後



- ・上記のほか、有馬口駅スロープ設計費用を2024年度に計上

- (4) 2024年度の料金徴収によるホームドア設置番線数及び段差解消駅数

- ・ホームドア設置番線数 : 0番線

- ・段差解消駅数 : 0駅

- (5) 2024年度の徴収額 : 170百万円

- (6) 整備等計画の進捗状況 : 当初の計画通りに進捗しています。

- (7) ホームドアの整備にあたって一般競争入札を実施しなかった場合には、その理由等 : なし
以上

2024年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	神戸電鉄株式会社
---------	----------

本年度整備費	154 百万円
--------	---------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
ホームドア	駅 番線	
エレベーター	駅 基	
エスカレーター	駅 基	
スロープ	駅 ヶ所	
内方線付点状ブロック	1 駅 2 番線	志染駅2・3番線
段差隙間縮小に資する設備	駅 番線	
バリアフリースレ	駅 ヶ所	
車両のフリースペース	編成 両	
その他	8 駅 (※)	備考参照
備考	※その他 触知案内板3駅（田尾寺駅・三田駅・フラワータウン駅） 案内ディスプレイ6駅（長田駅・山の街駅・花山駅・大池駅・田尾寺駅・志染駅）	

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	0	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

本年度徴収額	170 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	92	78	0
備考	2025/1/18に鉄道駅バリアフリー料金の収受を終了しています		

本年度までの累計整備費	488	百万円
本年度までの累計徴収額	346	百万円

2024年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	駅	基		百万円
エスカレーター	1 駅	1 基	北鈴蘭台駅 (新規着手)	18 百万円 (※1)
スロープ	1 駅	2 ヶ所	有馬口駅 (継続)	16 百万円 (※2)
内方線付点状ブロック	1 駅	2 番線	志染駅2・3番線 (新規着手)	16 百万円
段差隙間縮小	駅	番線		百万円
バリアフリースイレ	駅	ヶ所		百万円
車両のフリースペース	編成	両		百万円
その他	8 駅		備考 (※3) 参照	8 百万円
備考	※1: 調査費用を計上 ※2: 設計費用を計上 ※3: その他 触知案内板3駅 (田尾寺駅・三田駅・フラワータウン駅) (新規着手) 案内ディスプレイ6駅 (長田駅・山の街駅・花山駅・大池駅・田尾寺駅・志染駅) (継続)			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	1 駅	2 基	小野駅 (新規着手)	48 百万円
エスカレーター	1 駅	1 基	フラワータウン駅 (新規着手)	14 百万円
バリアフリースイレ	駅	ヶ所		百万円
車両	編成	両		百万円
その他	駅			百万円
備考				
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費(※)		34	百万円	
収受システム改修費			百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)			百万円	
備考	※1 エレベーター、エスカレーターの維持管理			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2025年度	0番線	0%	1駅 ★1	100%	0駅	0%
累計	0番線	—	1駅	100%	0駅	—

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

★1 2024年度までの実績においてバリアフリー料金を充当

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度						
2027年度						
2028年度						
2029年度						
2030年度						
累計						

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

2025年6月30日公表
阪神電気鉄道株式会社
阪急電鉄株式会社
神戸電鉄株式会社

鉄道駅バリアフリー料金制度における整備等計画の進捗状況について(お知らせ)

神戸高速線(当社ほか2社)では2025年1月19日より、運賃と合わせて鉄道駅バリアフリー料金(以下「料金」といいます。)を収受しておりますが、「鉄道駅バリアフリー料金の取扱いに関する通達(国鉄都第111号 令和3年12月28日付け)」に基づき、下記の通り2024年度の整備等計画の進捗状況をお知らせいたします。

お客さまには引き続き料金のご負担をお願いすることとなりますが、制度の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 整備費総額 : 141百万円

【内訳】設置・改良費 6百万円

維持管理費・収受システム改修費・その他費用 135百万円

2. 主な整備内容

①設置・改良費の内容

・高速神戸駅 ホームドア設置(測量業務)

②維持管理費・収受システム改修費・その他費用の内容

・エレベーター、エスカレーターの維持管理

・収受システム改修

・その他(駅務機器改修、駅頭表示改修)

3. 料金徴収によるホームドア設置番線数及び段差解消駅数

・ホームドア設置番線数 0番線

・段差解消駅数 0駅(二経路以上確保駅)

4. 料金徴収額 : 46百万円(2025年1月19日より収受開始)

5. 整備等計画の進捗状況 : 当初の計画通りに進捗しています。

以上

2024年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	阪神電気鉄道株式会社（神戸高速線） 阪急電鉄株式会社（神戸高速線） 神戸電鉄株式会社（神戸高速線）
---------	---

本年度整備費	141 百万円
--------	---------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	0 駅	0 番線	
エレベーター	0 駅	0 基	
エスカレーター	0 駅	0 基	
スロープ	0 駅	0 ヶ所	
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線	
段差隙間縮小に資する設備	0 駅	0 番線	
バリアフリースイレ	0 駅	0 ヶ所	
車両のフリースペース	0 編成	0 両	
その他	0	駅	
備考			

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		0	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	0	駅

本年度徴収額	46 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	39	7	0
備考			

本年度までの累計整備費	141 百万円
本年度までの累計徴収額	46 百万円

2024年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	1 駅	4 番線	【新規】高速神戸駅※	6 百万円
エレベーター	駅	基		百万円
エスカレーター	駅	基		百万円
スロープ	駅	ヶ所		百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線		百万円
段差隙間縮小	駅	番線		百万円
バリアフリートイレ	駅	ヶ所		百万円
車両のフリースペース	編成	両		百万円
その他		駅		百万円
備考	※測量業務のみを実施			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	0 駅	0 番線		0 百万円
エレベーター	0 駅	0 基		0 百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		0 百万円
バリアフリートイレ	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
車両	0 編成	0 両		0 百万円
その他		0 駅		0 百万円
備考				
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費			12	百万円
収受システム改修費			74	百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)			49	百万円
備考	維持管理費には、エレベーター・エスカレーターの維持管理を含む			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	-	駅	%	駅	%
2022年度	0番線	-	駅	%	駅	%
2023年度	0番線	-	駅	%	駅	%
2024年度	0番線	-	駅	%	駅	%
2025年度	0番線	-	駅	%	駅	%
累計	0番線	-	駅	%	駅	%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	0番線	0%	駅	%	駅	%
2027年度	4番線	20%	駅	%	駅	%
2028年度	0番線	20%	駅	%	駅	%
2029年度	4番線	40%	駅	%	駅	%
2030年度	2番線	50%	駅	%	駅	%
2031年度	0番線	50%	駅	%	駅	%
2032年度	6番線	80%	駅	%	駅	%
2033年度	2番線	90%	駅	%	駅	%
2034年度	2番線	100%	駅	%	駅	%
2035年度	0番線	100%	駅	%	駅	%
累計	20番線	100%	駅	%	駅	%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
(該当なし)			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

鉄道駅バリアフリー料金制度における整備等計画の進捗状況について（お知らせ）

弊社では2023年4月1日から運賃に加算して「鉄道駅バリアフリー料金」を収受させていただいておりますが、「鉄道駅バリアフリー料金制度の運用細目を定める通達（国鉄都第111号 令和3年12月28日付）」に基づき、2024年度のバリアフリー整備等の実績について以下の通りご報告申し上げます。

■2024年度実績

1. 整備費総額 19億81百万円
【内訳】 設備・改良費：14億73百万円
 更新費 ：3億76百万円
 維持管理費・システム改修費：1億32百万円
2. 設備・改良費の内容
 - ・ホームドア整備（守口市駅 2・3番線 萱島駅 2・3番線）
 - ・車両のフリースペース設置（7000系車両1編成）
3. 更新費の内容
 - ・放送システム更新（全駅対象）
 - ・駅放送設備更新（土居駅・群津駅）
4. 維持管理費の内容
 - ・ホームドア、エレベーター、運行情報配信システム、行先表示器、列車接近表示器
放送システムのメンテナンス
5. 2024年度の料金徴収によるホームドア設置番線数及び段差解消駅数
 - ・ホームドア設置番線数 4番線
 - ・段差解消駅数 0駅
6. 2024年度の徴収額 15億8百万円
【内訳】 定期外：10億54百万円
 定期券：4億54百万円
7. 整備等計画の進捗状況：当初の計画通りに進捗しています。

以 上

2024年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	京阪電気鉄道株式会社
---------	------------

本年度整備費	1,981 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	2 駅	4 番線	守口市駅、萱島駅
エレベーター	0 駅	0 基	
エスカレーター	0 駅	0 基	
スロープ	0 駅	0 ヶ所	
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線	
段差隙間縮小に資する設備	0 駅	0 番線	
バリアフリートイレ	0 駅	0 ヶ所	
車両のフリースペース	1 編成	7 両	
その他		駅	
備考			

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	4 番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

本年度徴収額	1,508 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	1,054	454	0
備考			

本年度までの累計整備費	4,649 百万円
本年度までの累計徴収額	2,886 百万円

※端数処理の都合上、様式2-1の本年度整備費と様式2-2の整備費の合計は異なる

2024年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	2 駅	4 番線	守口市駅、萱島駅	1,460 百万円
エレベーター	0 駅	0 基		百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		百万円
スロープ	0 駅	0 ヶ所		百万円
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線		百万円
段差隙間縮小	0 駅	0 番線		百万円
バリアフリースイッチ	0 駅	0 ヶ所		百万円
車両のフリースペース	1 編成	7 両		12 百万円
その他		駅		百万円
備考				
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	0 駅	0 番線		百万円
エレベーター	0 駅	0 基		百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		百万円
バリアフリースイッチ	0 駅	0 ヶ所		百万円
車両	0 編成	0 両		百万円
その他※		駅		376 百万円
備考	※放送システム 土居駅、郡津駅、システム更新（全駅）			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）				
維持管理費				132 百万円
収受システム改修費				百万円
その他費用 <small>（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）</small>				百万円
備考	維持管理費：ホームドア、エレベーター、運行情報配信システム、行先表示器、列車接近表示器、放送システムのメンテナンス			

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	2番線	33%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	4番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2025年度	0番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
累計	6番線	100%	0駅	—	0駅	—

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	番線	%	駅	%	駅	%
2027年度	番線	%	駅	%	駅	%
2028年度	番線	%	駅	%	駅	%
2029年度	番線	%	駅	%	駅	%
2030年度	番線	%	駅	%	駅	%
・ ・ ・						
累計	番線	%	駅	%	駅	%

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
守口市駅可動式ホーム柵設整備事業 (2・3番線)	当社ホームドアの仕様が大開口タイプと特殊であり、すでに導入した駅での実績業者に発注することが設計面等を含めた価格が適正になるため。また、維持管理面等においても、メンテナンスや部品確保の点で有利なため。	過去に競争見積もり比較のうえすでに導入した駅での価格を参考とし、価格協議において適正と判断した。	597 百万円
萱島駅可動式ホーム柵設整備事業 (2・3番線)	当社ホームドアの仕様が大開口タイプと特殊であり、すでに導入した駅での実績業者に発注することが設計面等を含めた価格が適正になるため。また、維持管理面等においても、メンテナンスや部品確保の点で有利なため。	過去に競争見積もり比較のうえすでに導入した駅での価格を参考とし、価格協議において適正と判断した。	583 百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

鉄道駅バリアフリー料金制度における整備等計画の進捗状況について（お知らせ）

標記の件につきまして、弊社では2023年4月1日から運賃に加算して「鉄道駅バリアフリー料金」を収受させていただいておりますが、「鉄道駅バリアフリー料金制度の運用細目を定める通達（国鉄都第111号令和3年12月28日付）」に基づき、2024年度のバリアフリー整備等の実績について以下の通りご報告申し上げます。

お客さまには引き続き料金のご負担をおかけしますが、制度の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

■2024年度実績の主な内容

1. 整備費総額 4億53百万円

【内訳】設置・改良費：2億66百万円、更新費：1億27百万円、維持管理費等：57百万円

2. 設置・改良費の内訳

- ①エレベーター：1億1百万円（夢前川駅2基）
- ②段差隙間縮小に資する設備：94百万円（夢前川駅2番線、別府駅2番線）
- ③バリアフリースイッチ：27百万円（平松駅1か所、夢前川駅1か所）
- ③その他（段差解消を目的とした改札口の新設）：44百万円（夢前川駅、的形駅）

3. 更新費の内容

- ・エレベーター：1億27百万円（舞子公園駅3基、飾磨駅2基）

4. 維持管理費の内容

- ①エレベーター：31百万円
- ②エスカレーター：26百万円

➤なお、端数処理を切り捨てにより行っていることから、整備費総額と内訳とが一致しない場合がございます。

2024年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	山陽電気鉄道株式会社
---------	------------

本年度整備費	453 百万円
--------	---------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	駅	番線	
エレベーター	1 駅	2 基	夢前川
エスカレーター	駅	基	
スロープ	駅	ヶ所	
内方線付点状ブロック	駅	番線	
段差隙間縮小に資する設備	2 駅	4 番線	夢前川、別府
バリアフリートイレ	2 駅	2 ヶ所	平松、夢前川
車両のフリースペース	編成	両	
その他		1 駅	夢前川
備考	その他の1駅は段差解消を目的とした改札口の新設		

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	駅
	二経路以上確保駅	駅

本年度徴収額	320 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	172	148	0
備考			

本年度までの累計整備費	1002 百万円
本年度までの累計徴収額	603 百万円

2024年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	1 駅	2 基	夢前川	101 百万円
エスカレーター	駅	基		百万円
スロープ	駅	ヶ所		百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線		百万円
段差隙間縮小	2 駅	4 番線	夢前川、別府 (別府は新規着手)	94 百万円
バリアフリースイール	2 駅	2 ヶ所	平松、夢前川 (夢前川は新規着手)	27 百万円
車両のフリースペース	編成	両		百万円
その他		2 駅	夢前川、的形 (的形は新規着手)	44 百万円
備考	その他の2駅は段差解消を目的とした改札口の新設			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	2 駅	5 基	舞子公園、飾磨 (いずれも新規着手)	127 百万円
エスカレーター	駅	基		百万円
バリアフリースイール	駅	ヶ所		百万円
車両	編成	両		百万円
その他		駅		百万円
備考				
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費				57 百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				百万円
備考	維持管理費はエレベーター・エスカレーターにかかる費用			

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅（注1）		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	0番線	0%	0駅	0%	1駅	100%
2025年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	100%
累計	0番線	0%	0駅	0%	1駅	100%

(注1) 当初計画では2025年度に整備を予定していた1駅を2026年度に変更

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅（注2）		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	0番線	0%	1駅	10%	0駅	0%
2027年度	0番線	0%	1駅	20%	0駅	0%
2028年度	0番線	0%	1駅	30%	0駅	0%
2029年度	0番線	0%	0駅	40%	0駅	0%
2030年度	0番線	0%	2駅	50%	0駅	0%
2031年度	0番線	0%	1駅	60%	0駅	0%
2032年度	0番線	0%	1駅	70%	0駅	0%
2033年度	0番線	0%	0駅	70%	0駅	0%
2034年度	0番線	0%	2駅	90%	0駅	0%
2035年度	0番線	0%	1駅	100%	0駅	0%
累計	— 番線	— %	10駅	100%	— 駅	— %

(注2) 当初計画では2025年度に整備を予定していた1駅を2026年度に変更

2024年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	大阪市高速電気軌道株式会社
---------	---------------

本年度整備費	14,192 百万円
--------	------------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
ホームドア	23 駅 47 番線	谷町線南森町他4駅、四つ橋線なんば他5駅、中央線コスモスクエア他11駅
エレベーター	3 駅 3 基	江坂・梅田・長堀鶴見緑地線森ノ宮
エスカレーター	駅 基	
スロープ	駅 ヶ所	
内方線付点状ブロック	駅 番線	
段差隙間縮小に資する設備	14 駅 29 番線	谷町線（南森町・天満橋）・四つ橋線（四ツ橋・なんば）中央線（コスモスクエア他9駅）
バリアフリートイレ	駅 ヶ所	
車両のフリースペース	編成 両	
その他	各 駅	
備考	<p>ホーム柵供用開始駅 谷町線（南森町・天満橋・谷町四丁目・谷町六丁目・谷町九丁目）、四つ橋線（なんば・花園町・岸里・玉出・北加賀屋・住之江公園）、中央線（コスモスクエア・大阪港・朝潮橋・弁天町・九条・阿波座・本町・堺筋本町・緑橋・深江橋・高井田・長田）</p> <p>段差隙間縮小駅 谷町線（南森町・天満橋）・四つ橋線（四ツ橋・なんば）中央線（コスモスクエア・大阪港・朝潮橋・弁天町・九条・阿波座・本町・堺筋本町・谷町四丁目・森ノ宮）</p> <p>その他内訳 幅広改札整備駅： 御堂筋線（東三国・新大阪・梅田・淀屋橋・長居・我孫子）谷町線（天神橋筋六丁目・中崎町・東梅田・谷町四丁目・四天王寺前夕陽ヶ丘・八尾南）四つ橋線（西梅田・四ツ橋・大國町・岸里・北加賀屋）中央線（朝潮橋・阿波座・高井田）千日前線（玉川・阿波座・西長堀・桜川・鶴橋・今里・新深江・小路）堺筋線（天神橋筋六丁目・堺筋本町・恵美須町）長堀鶴見緑地線（大正・谷町六丁目・大阪ビジネスパーク・蒲生四丁目・今福鶴見・鶴見緑地・門真南）今里筋線（だいどう豊里・太子橋今市・関目成育・蒲生四丁目・鴨野・緑橋）ニュートラム（コスモスクエア・住之江公園）</p> <p>音案内：大阪港</p> <p>遠隔案内システム改良：御堂筋線（東三国）・四つ橋線（肥後橋・本町・四ツ橋・なんば・花園町・岸里・玉出・北加賀屋・住之江）・中央線（夢洲・コスモスクエア・大阪港・朝潮橋・弁天町・九条・阿波座・本町・堺筋本町・谷町四丁目・森ノ宮・緑橋・長田）</p>	

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	47 番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	駅
	二経路以上確保駅	3 駅

本年度徴収額	6,175 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 （百万円）	4,672	1,503	0
備考			

本年度までの累計整備費	26,137 百万円
本年度までの累計徴収額	11,774 百万円

2024年度 バリアフリー整備等実績

整備実績			
(1) 設置・改良費			
設備名	整備数	整備駅名	整備費
ホームドア	48 駅 98 番線	(継続) 谷町線、四つ橋線、中央線※1	7,917 百万円
エレベーター	13 駅 14 基	(継続) 梅田、なかもず、他4駅 (新規) 江坂、東三国、他5駅※2	2,019 百万円
エスカレーター	駅 基		百万円
スロープ	駅 ヶ所		百万円
内方線付点状ブロック	駅 番線		百万円
段差隙間縮小	14 駅 29 番線	(新規) 谷町線南森町、四つ橋線なんば、中央線本町、他11駅	859 百万円
バリアフリースイッチ	駅 ヶ所		百万円
車両のフリースペース	編成 両		百万円
その他	各 駅		682 百万円
備考	※1 谷町線 25駅 (大日等、東梅田を除く全駅) 四つ橋線 9駅 (肥後橋等、西梅田・大國町を除く全駅) 中央線 14駅 (コスモスクエア等全駅) ※2 (継続) 梅田駅、なかもず、千林大宮、中崎町、日本橋、今里 (新規) 江坂、東三国、守口、堺筋本町、野田阪神、大正、森ノ宮 その他内訳： (新規) 幅広改札 御堂筋線 (東三国・他5駅) 谷町線 (天神橋筋六丁目・他5駅) 四つ橋線 (西梅田・他4駅) 中央線 (朝潮橋・他2駅) 千日前線 (玉川・他7駅) 堺筋線 (天神橋筋六丁目・他2駅) 長堀鶴見緑地線 (大正・他6駅) 今里筋線 (たいどう豊里・他5駅) ニュートラム (コスモスクエア・他1駅) (継続) 音案内：大阪港 (新規) 遠隔案内システム改良：東三国、本町、大阪港、他20駅		
(2) 更新費			
設備名	整備数	整備駅名	整備費
ホームドア	3 駅 6 番線	中ふ頭・ポートタウン西・ポートタウン東	221 百万円
エレベーター	7 駅 9 基	玉造、都島、谷町線天王寺、西大橋、出戸、朝潮橋、京橋	405 百万円
エスカレーター	3 駅 4 基	堺筋線天神橋筋六丁目、京橋、横堤	177 百万円
バリアフリースイッチ	駅 ヶ所		百万円
車両	編成 両		百万円
その他	各 駅		753 百万円
備考	その他の内訳：旅客案内表示器、案内設備 (サイン)		
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)			
維持管理費		1,159	百万円
収受システム改修費			百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)			百万円
備考	維持管理費内訳：ホームドア、エレベーター、エスカレーター、旅客案内表示器、サービス情報表示器、幅広改札機、案内設備 (サイン)、バリアフリースイッチ、点字ブロック、点字設備		

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数				段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)							
	設置数		計画進捗率		一経路確保駅			二経路以上確保駅				
					駅数	計画進捗率		駅数	計画進捗率			
2021年度	0	番線	0	%	—	駅	—	%	0	駅	0	%
2022年度	0	番線	0	%	—	駅	—	%	0	駅	0	%
2023年度	11	番線	11	%	—	駅	—	%	1	駅	9	%
2024年度	47	番線	59	%	—	駅	—	%	3	駅	36	%
2025年度	40	番線	100	%	—	駅	—	%	7	駅	100	%
累計	98	番線	100	%	—	駅	—	%	11	駅	100	%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	10 %
2027年度	— 番線	— %	— 駅	— %	1 駅	15 %
2028年度	— 番線	— %	— 駅	— %	3 駅	30 %
2029年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	40 %
2030年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	50 %
2031年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	60 %
2032年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	70 %
2033年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	80 %
2034年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	90 %
2035年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	100 %
累計	— 番線	— %	— 駅	— %	20 駅	100 %

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
該当なし			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。